

たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒781-6410 高知県安芸郡田野町1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 隆
(題字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com/> E-Mail: info@usui-kai.com



田野病院 第1会議室にて
研修医 加藤大貴先生 地域医療研修 総括発表会
撮影者：小松 高司

CONTENTS ページ

■救急医療	1
■研修医の先生にインタビュー	2
■おらんくの病院	2
■病気のはなし	3
■お薬のはなし	3
■認定理学療法士(運動器領域)を取得しました	3
■平成29年度新入職員オリエンテーション	4
■BLS研修	4
■医療ガスセミナーに参加して	4
■認知症サポーター研修に参加して	4
■新透視装置を導入しました	4
■高知県版HACCP(ハサップ)認証取得	4
■職員駐車場の新設	5
■高知総合防災訓練	5
■たのの温泉に取材が来ました！	5
■リハビリテーションニュース	6
■楽楽けんこう隊	6
■救急医療研修会	6
■介護事業部だより	7
■新入職員大歓迎会	7
■診療時間変更のお知らせ	7
■リレーエッセイ	8
■茄子とトマトの焼き春巻き	8
■結婚しました	8
■新人紹介	8
■編集後記	8

救急医療

理事長 白井 隆

高知県内には救命救急センターが3箇所あり何れも高知市内にあります。人口30万人あたり1施設が基本であるから、高知の救急医療体制は充実しており、大変ありがたいと言ふことにならずであるが、現実はどうであろう。高知県の人口は71万人強、東西の距離は非常に長く、高知市の中心部から東の東洋町まで、部分的に高速道が出来たけれど、車で3時間かかります。かかりつけ医として機能していた診療所が減少しました。救急病院も減少しました。全県下の2次救急医療機関の救急対応力が減少しました。救急関連の会合でもこのことはよく話が出てきます。2次救急病院が、どうすればもっと機能を発揮できるだろうか、という話も出ます。また、3次救急医療機関で全て引き受けて、軽症者は2次または1次救急医療機関に紹介するという方法についての話も出ます。このような状況になった原因はたくさんありますが、医師の高齢化、研修医制度による若い医師の都市部への偏在により地方に若い医師がいなくなった事、看護師不足、人口減少、高齢世帯の増加、医師の専門分化

が進み、プライマリーケアであっても、対応出来ないことがしばしばある事等でしょうか。つまり、日中であれば2次救急病院としての機能を発揮できても、夜間では2次どころか1次も内容によっては対応出来ないと言ふことが多い2次医療機関の悩みでもあります。何でも診れる医師が減ったこと等も大きな要因と思われます。最近では救急隊員による気管挿管、血管確保、薬剤投与が認められ、大きな成果をあげています。ドクターへの活用、病院と診療所の連携、病院同士の連携、2次と3次医療機関の連携、難病患者の場合や、在宅での緩和医療を受けている場合には、急変時の対応を決めておく事も大事です。救急隊員による救急患者のトリアージ、2次救急医療機関でのトリアージにより、出来る限り、地域での救急対応に努め、対応が困難であれば、高次の医療機関へ搬送する。まずは積極的に救急患者を受入れ、対応する事が最も大事な事ではないかと思ふます。そうはいっても、限られた人材の中では、出来る事にも自ずと限界があります。救急医、総合診療医がもっと増えて、地域で活躍するようになると、広い高知県であっても安心してどこにでも住める様になると思ふます。

研修医の先生にインタビュー

地域医療研修として、当院で5/8～5/26まで研修された加藤大貴先生、5/29～6/23まで研修をされた中嶋荘太郎先生に、研修中のことなどインタビューをしました。



かとう だいき
加藤 大貴 Dr
(国立国際医療研究センター研修医2年目)

年齢：26歳 出身地：東京都
出身大学：筑波大学
趣味：グルメ探索、睡眠、お酒を楽しく呑む

Q. 研修前の、地域医療研修への印象を教えてください。

A. へき地医療、医療過疎地域で慢性期病棟、在宅医療を行うなどを想像していました。

Q. 研修中大変だったことはありますか？

A. 毎日のように違う部門、医療機関にて研修させていただき様々な方にやさしくご指導いただきました。強いていえば、毎日振り返って地域医療において各部門がどんな役割を担っているのか、考えまとめるのが大変でした。

Q. 研修中、一番印象に残ったことがあれば教えてください。

A. 地域医療研修発表会では会場を作ってください、田野病院の各部門の方々、他医療機関からもお越しいただき皆様の声をお聞きできたのはとても貴重な体験でした。

Q. 医療法人白井会(田野病院)のイメージを教えてください。

A. TVCMの印象もあって医療従事者の方々だけでなく職員皆さんで病院を盛り立てているイメージがありました。職員の多いリハビリの活性化もちろん、外科手術も増やし、病院の特色を押し出しながら地域に貢献している印象でした。

Q. 指導医、職員の印象を教えてください。

A. 病院を歩いていると病院の方々が元気よく挨拶くださる気さくな方が多かったです。一例ですが県外に少しでも多くの知識を学ぼうと研修に行かれるなど意欲のある方が多かったのも印象的でした。

Q. 将来“こんなDrになりたい!!”というDr像があれば教えてください。

A. 本当なら地域に貢献できる医師！と言えたらカッコいいのですが、自分は将来外科医として技術はもちろん、今回の地域研修を終えて患者さんのその後をしっかりと考えられる医師になりたいと改めて思いました。

Q. 最後に一言お願いします。

A. 田野病院での研修は医療の在り方だけでなく、自分の将来像を考える上でもとても考えさせられた研修となりました。インタビューとしては固いものとなってしまいましたが、田野での3週間はとても楽しく、思い出に残るものとなりました、本当にありがとうございました！！



なかじま そうたろう
中嶋 荘太郎 Dr
(国立国際医療研究センター研修医2年目)

年齢：25歳 出身地：神奈川県
出身大学：東京大学
趣味：スノーボード・温泉

Q. 研修前の、地域医療研修への印象

A. できる検査や使える薬の少ない中でありとあらゆる分野の患者さんを診なければならない、いわゆる野戦病院のような研修を思い描いていて、大変そうな印象でした。

Q. 研修中大変だったこと

A. 隣の医療機関でも研修をさせていただいたのですが、そこまでの移動が大変でした。汽車とバスを乗り継ぎ移動だけで片道40分ほど、さらにそれぞれの本数が少なく乗り継ぎで30分待ちなど。こういった道のりを患者さんも通院しうると考えると、受診にも一苦労だなと感じました。

Q. 研修中一番印象に残ったこと

A. 魚梁瀬の診療所でも研修させていただいたのですが、週に2日しか開かないということに驚きました。前の診療日には様子を見ていて悪化して受診という方もいて、医療アクセスの課題を感じました。

Q. 白井会のイメージ

A. 普段は急性期病院にいたこともあり、疾患にばかり着目することが多かったのですが、田野病院では治療のその先のリハビリ、社会的な調整まで、発症前と同じ生活あるいはそれに近い状態を目指して多職種が一丸となって取り組んでいる姿が印象的でした。

Q. 指導医、職員の印象

A. お忙しい中時間を割いて様々なことを教えていただき感謝しています。みなさん気さくで親切な方ばかりで、自身の専門外のことについても患者さんのためにと勉強されたり、患者さんの生活を第一に考えている方々でした。

急なお願いにも関わらずインタビューに快くお答えいただき、ご協力ありがとうございました。



おらんくの病院

西病棟 看護師 佐藤 千秋

昨年の8月に関東から、夫の仕事の都合で室戸へ移住してきました。移住してきた当初は電車も通っていない所と聞き、生活するのは大変と感じていました。どこに行くにも車が必要で、しかも距離が結構あること、幸い免許は持っていたので何とかこなしていますが…。ただ、渋滞がなく距離はあっても時間的にはかからなかったり、駐車場が結構充実していて料金もかからないのは助かります。都内で駐車するには必ず料金がかかりますから。不便な点もありますが、この辺りは自然が多く、特に海が近くて素敵なお場所です。自宅からも海が近く、今もすぐ側で波の音が聞こえています。時には夕日を眺めながらゆったりと過ごしたり、以前はそんなことはできませんでしたがとても贅沢ですね。ただ一つ気がかりは、津波です。いつ来るか分からないけれど、出来れば来ないことを祈ります。今は、「住めば都」とまではいきませんが、まあまあ気に入っています。

病気のはなし 変形性膝関節症

高知大学医学部 整形外科 医員(病院助教) 五十嵐陽一



変形性膝関節症には、加齢に伴う変性によって生じる一次性（特発性）のものと、骨折などの外傷などの後に生じる二次性（続発性）のものがありますが、多くの場合、一次性の変形性膝関節症であり、50歳代の女性や肥満を認める方に多く認められます。症状としては、立ち上がる時や階段を昇り降りする際の膝の痛みが特徴で、特に膝の内側に生じることが多いです。

また、変形が進行すると徐々に膝の曲げ伸ばしが制限され、正座ができなくなったり、立った際に膝を軽く曲げた姿勢になったりします。さらに正面から足を見た際に、O脚変形（内反膝と言います）が目立つようになります。

この時、膝の中では関節軟骨がすり減っており、レントゲン検査で関節の隙間が狭くなっています。

治療としては、膝にかかる負担を取るために、減量や筋力訓練が重要となります。また、足底板を用いて体重のかかる部分を変えたり、膝サポーターが有効な場合があります。

薬物療法としては、痛み止めの内服や湿布などや、ヒアルロン酸の関節内注射を行います。膝の中で炎症が強く生じていた場合には、関節の中に水が溜まることもあり、その時は関節内の水を抜くことを関節注射とあわせて行います。

これらの保存療法で効果が得られない場合、手術療法が選択されます。痛んだ膝関節全体を金属に置き換える人工膝関節置換術が有名ですが、膝の状態や年齢によっては、脛の骨を切って形を整えて体重のかかる場所を変える骨切り術や、部分的な人工関節置換術なども選択されます。

膝の痛みは多くの方が持つ悩みの一つです。今の医学では、残念ながら関節の変形を元どおりに戻すことはできません。しかし、変形の進行を遅らせたり、痛みを和らげることで、日常生活の中での制限を減らし、よりいっそう元気に暮らしていくことが可能となる場合が多いのも事実です。

現在、膝の痛みで悩んでいる方は一度ご相談ください。

お薬のはなし なぜに抗生物質は効きません！ 薬剤部 主任 斉藤 忠男



今回は正しく使えば非常に効果的な抗生物質（抗菌薬）も、使い方を誤れば百害あって一利なしというお話をしたと思います。以前はなぜをひくと抗生物質を飲んで早く治すなんて話もよくありました。いまだにそれを信じて抗生物質をくださいと言われる患者様がおられます。

感染症を引き起こす病原体は2種類あります。ウイルスと細菌です。抗生物質は肺炎や尿路感染症などを引き起こす細菌には良く効きますが、なぜの原因となるウイルスには全く効きません。しかし、なぜに抗生物質がよく処方されている現状が全国であります。

抗生物質を安易に摂取していると、体内に元々いる細菌が耐性を獲得して、抗生物質の効きにくい耐性菌に変わってしまいます。一度体内で耐性菌が出来てしまうと一生消えることはないです。もし耐性菌が原因で感染症を起こしてしまったら、治療が非常に困難で死に至る可能性がグッと高くなります。

さらに不適切な抗生物質の摂取は、効かないばかりでなく副作用の可能性だけが残ります。抗生物質の副作用の中にはよくある下痢から死に至るものや、一生痕の残るものもあります。

実は日本は世界の先進国の中で一番対策が遅れていて、耐性菌が一番多い国です。厚生労働大臣自らが主導して早急な対応を行い始めています。実際に数年後にはなぜで抗生物質は処方出来なくなるという方針が打ち出されました。

ウイルス性のなぜに抗生物質（抗菌薬）は百害あって一利なし！

自分の将来、子どもや孫の世代のためにも不適切な抗生物質の使用は控えましょう。

認定理学療法士（運動器領域）を取得しました

リハビリテーション部 理学療法士 和田 介成



日本理学療法士協会では自らの専門性を高め、高い専門的臨床技能の維持、社会、職能面における専門性を高めていく事を目的に認定理学療法士の制度を設けています。私は2年前の脳卒中領域の認定に続き、今回運動器領域での認定を受けることができました。苦勞した所は、試験も難しかったのですが、必要な研修を受講するのに県内では開催されておらず、何度も県外に足を運ばなくてはいけなかった点です。そのために病院やスタッフに勤務の調整など協力をいただきました。またなによりも臨床経験を患者様、利用者様に与えていただいた事、勉強する機会を与えていただいた事を厚く御礼申し上げます。現在当院には3名の認定理学療法士が在籍

していますが、県内での認定者は28名（2016年4月）とまだまだ世間には知られていない存在です。今後は後輩の育成にも力を入れて、認定者を増やし当院のリハビリテーションの質の向上に寄与したいと考えています。



医療法人白井会 認定理学療法士取得者

理学療法士 和田 介成 「脳卒中」「運動器」
理学療法士 森下 誠也 「発達障害」
理学療法士 岡林 輝親 「脳卒中」

平成29年度 新入職員オリエンテーション

西病棟 看護師 川村 優貴



平成29年度新入職員である私は「新入職員オリエンテーション」に参加しました。研修ではまず、法人の理念方針を学ぶと共に、社会人としての在り方について学びました。また理事長、院長をはじめ、多職種の方々のお話を聞くことができ、患者様に寄り添う医療をしていくために、多職種連携の大切さを改めて考えさせられました。

3日間という短期間での新人研修ではありましたが、現場で必要な採血や吸引、点滴ルートを選択についての看護技術を手厚くご指導いただき、学びが増え、今後の業務に活かすことのできる充実した研修でした。

今後は、先輩方からご指導、サポートを頂きながら、地域医療に貢献していけるよう、日々精進していきたいと思っております。

BLS研修

リハビリテーション部 理学療法士 徳永 涼

BLS研修では、意識の確認からAEDを使用するまでの一連の動作を確認した後に、様々な状況設定で実践的な訓練を行いました。救命率を上げるためには、AEDを使用するまでの時間が重要で、3分以内にAED使用できれば救命率が上がると分かりました。そのため、AED設置場所の確認や、いざというときにすぐ行動できるように準備が必要だと感じました。

今後、救命が必要な状況に遭遇した時に、今回の研修で得たことを活かしたいと思います。



医療ガスセミナーに参加して

回復期リハビリ病棟 看護師 植野 文香



今回の医療ガスセミナーに参加し、酸素ポンベの取り扱いの注意点を再認識する事ができました。使用前には必ず、酸素の残量をチェックし、酸素の残量早見表を用いて、リハビリや食事の時など可能な流量であるかを確認し、間違いのないように使用していこうと思います。また、使用後はバルブをしっかりと閉め、残量のメモリが「0」になった事を確認し、保管することの必要性を感じました。酸素ポンベの交換も手順通りに実施していきたいと思っております。

認知症サポーター研修に参加して

リハビリテーション部 作業療法士 武田 誠実

5月24日に開催された認知症サポーター研修に参加させて頂き、認知症の種類と特徴、認知症と診断された方とその家族様がどのように感じて生活されているのか。また、私たち病院スタッフが認知症患者様と関わらせて頂く際の対応方法を学びました。今回の研修において、認知症と診断された患者様とその家族様の感じられている不安や葛藤等を少しでも解消し、安心して生活を送って頂けるよう関わっていきたく感じました。



新透視装置を導入しました

放射線部 臨床放射線技師 主任代理 中石 宇俊

巧みに自在に、未知なる領域へ…という事で今回“VersiFlex VISTA”（日立）を導入しました。多様な用途に合わせた柔軟な動きが多目的な検査に対応し、精細で鮮明な高画質に加え、自由自在に広範囲の撮影が出来るようになりました。まず、今までとの大きな違いはフラットパネルという物の存在です。X線を画像変換する時の重要な部分で、透視画像でも撮影画像に近い見やすさを実現し、それにより透視下で治療処置におけるステントやカテーテルなど医師が使用する道具の視認性が向上しました。他には、撮影室を快適かつ多目的な空間にするため装置の奥まで広いワーキングエリアを確保でき患者様の両側から手技や介助が行える空間になっています。また部屋は壁・床ともにペンキを塗り替えリニューアルしました。最後に、患者様にとって良くなった点は乗り降りする時の低い台の位置、広くなった寝台、そしてFPDや処理技術の向上による被ばくが大幅に低減されました。



高知県版HACCP(ハザップ)認証取得

栄養部 管理栄養士 齊藤 里奈



HACCPとは、「Hazard(危害)」「Analysis(分析)」「Critical(重要)」「Control(管理)」「Point(点)」（危害分析重要管理点）という言葉の略語で食品を製造する際に安全を確保するための管理手法のことを言います。食品の製造・出荷の工程でどの段階で微生物や異物混入が起きやすいかという危害をあらかじめ予測、分析して被害を未然に防ぐ方法です。

田野病院も高知県の給食施設初となる高知県版HACCPを取得してから、平成29年3月に新たに第3ステージの高知県版HACCP認証を取得しました!!!これからも衛生面に気を付け患者様に安全かつおいしいといっただけの食事を提供していきたいです。

●担当者(栄養士 徳弘幸)よりコメント

前回取得した高知県版HACCPより、厳しい書類作成や、審査に臨みました。

現場のスタッフの協力なくしては、患者様により安全な食事提供もできませんし、協力あってこそその美味しい食事提供だと思っています。今後も、栄養部スタッフ一同協力の上、患者様に喜んでいただける食事提供に心掛けて行きます。

職員駐車場の新設

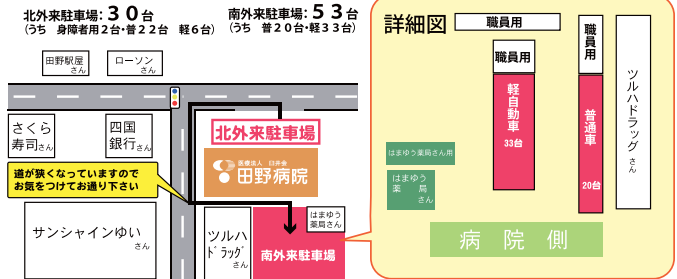
経営企画部 総務課主任 岩崎 宏紀

2017年5月19日、当法人では職員駐車場を新設しました。以前より職員増加による駐車場不足の問題があり、この度の駐車場新設により解決することができました。また当日早朝には、サプライズで完成記念イベントが行なわれ、一番初めに駐車した職員を称え記念品を贈呈するなど、大いに盛り上がりました。患者様には、職員駐車場新設に伴い、下記の通り病院南駐車場内の外来駐車スペースを拡大し、より駐車しやすくなりましたので、当院へお越しの際はどうぞご利用ください。



外来患者用駐車場拡大のご案内

この度、病院南駐車場内の外来駐車スペースを拡大しました。



高知総合防災訓練

外来・中材手術部 副師長 四國 大輔

6月4日に県の防災訓練がありました。今回は高知県東部で、あき総合病院や室戸広域公園等を会場に、大規模な訓練が行われました。その中で当院は災害救護病院としての訓練を実施致しました。

内容は災害発災時において、院内災害マニュアルに添っての実証検証でした。

私はDMATの1員として、院内の災害対策本部での活動を行いました。

スタッフをはじめ、多くの方はDMATといえば、災害が起こると医療機関や救護所において治療にあたるイメージがあると思います。もちろんその活動もありますが、まず優先して行う事が、病院が傷病者を受け入れることができるように支援するための活動が行われます。



今回の訓練でも病院自体の損壊やライフラインは無事か、入院患者様や職員の安否、医療資機材の在庫などを確認し、病院としての診療が続けられるかの決断をしなければならない場面もありました。

南海地震の発生率はさらに高まっています。何も無いことを祈るばかりですが、備えは必要です。一人でも多くの方が助かるために限られた資源の中で何が出来るのか、また病院全体として、日頃の準備の重要性を感じた1日でした。

たのたの温泉に取材が来ました！

経営企画部総務課 牛窓 靖
たのたの温泉支配人

さんさんテレビがたのたの温泉へ取材に来ました！

6月9日、さんさんテレビ土曜のお昼12:00に放送されている『おちゃのまLiveさんスタ!』内のコーナー「日帰り温泉ツアーズ」の収録に、さんさんテレビ撮影隊がたのたの温泉を来訪されました。「日帰り温泉ツアーズ」とは、温泉大好きな人気バンド「ジャーパーボズ」のおふたりと、「温泉ソムリエ」の資格を持つリポーター「MARI」さんが、高知市内から日帰りで行ける温泉地を紹介していく人気のコーナーです。今回7月放送の同コーナーで、たのたの温泉へ収録オファーがありました。



収録当日は、出演者の皆さんが施設案内をするという構成でした。撮影時には、当法人にて入浴指導員の資格を持つ理学療法士岡林輝親と、たのたの温泉支配人の私が、正しい施設の利用方法を説明しながら対応しました。

実際の放送数分程度に対して、撮影には3時間程を要し大変でしたが、初めてのテレビ収録は充実の時間でした。

たのたの温泉は平成27年9月にオープンし、おかげさまでたくさんの方に利用していただけるようになりました。この放送をきっかけに、さらに多くの方に利用していただける施設にしていきたいと思ひます。

放送日は7月22日(土)ですので皆さん是非ご覧ください！



リハビリテーションニュース

リハビリテーション部 理学療法士 森下 誠也

4月よりリハビリテーション室に新しい機器が導入されましたのでご紹介します。

●スープリュームビジョンL (視機能トレーニング機器)

「視機能」とは眼球の動きに関する能力です。眼球には6つの筋が左右それぞれにあり、この合計12個の筋肉の協調した働きによって眼球運動が行われ、物体を目で追うことや瞬時に物体を発見したりすることができます。この機器を使用することで、物の見づらさが改善したり、注意力が改善する可能性があります。



●アシスト・ウォーカー (免荷装置付トレッドミル)

歩行は運動の中でも簡単に行えるものですが、関節に痛みのある方や麻痺のある方にとっては負担の大きい場合があります。この機器を使用することで、体重を脚にかかる重さを軽くすることが出来、楽に長い時間歩行練習を行う事が出来ます。

たのたの 楽楽けんこう隊

～今日からできる認知症予防～

外来・中材手術部 看護助手 宮地亜希子

平成29年4月28日の健康教室は“今日からできる認知症予防”ということで、外部講師の方をお招きし、講演して頂きました。

認知症を予防するにはまず、生活習慣の見直しがとても大切であることを教えて頂きました。偏りのない食生活はもちろんのこと、趣味を多く持つことや運動など、人との関わりを持つことが効果的とのこと、特に社交ダンスは水泳や散歩よりも認知症発症リスクが低いことが分かっているようです。

この病気は誰でもなる可能性のある病気の一つです。できることから始めてみてはいかがでしょうか。



～認知症予防のための運動療法～

リハビリテーション部 作業療法士 有澤奈央人



平成29年5月26日、楽楽けんこう隊にて『認知症予防のための運動療法』という講演（講演者は岡林輝親 理学療法士）があり、サポート役として参加させて頂きました。

楽楽けんこう隊への参加は何度かありましたが、講演者側での参加は初めてで前日から緊張していました。しかし、演目にもある通り運動を多く取り入れており、実際に行うことですぐに緊張は無くなりました。また、立って行う体操だけではなく、椅子に座って出来る運動もあり、幅広い方に適した内容でした。脳を活性化させる二重課題（二つのことを同時に行う）や童謡・じゃんけんなど馴染みのある遊びも取り入れており、講演者でありながらも最後まで参加された皆さんと楽しみながら参加することができました。

今後は、入院されている患者様のリハビリテーションを行う際に、今回経験した運動を取り入れながら、入院生活による認知機能の低下を防ぎ、目標とする退院へ繋げていきたいと感じました。



平成29年6月22日
講師：理事長 白井 隆
『熱中症』



平成29年4月19日
講師：副院長兼小児科部長 島崎 洋成
『小児救急』

救急医療研修会

介護事業部だより

通所リハビリ



3月3日皆さんで花を生けました

桃の節句



きれいやね〜



男性陣も
はりきって
ました



チョイ
チョイ

できあがり



デイサービスの

5月鯉のぼり運動会



とんでけ〜



ばんざーい
優勝したよ!

紅白宿命の戦い



負けてよう



真剣勝負

優勝は…赤組でした。

おめでとうございます

新入職員大歓迎会

放射線部 診療放射線技師 折上 知也

4月14日(金)にホテルなはりにて『平成29年医療法人白井会 大歓迎会』が行われました。たくさんの職員の方々が出席されており、始めは緊張から周りの方々と話す事が出来ませんでした。お酒が進むにつれて他部署の方々から話しかけてもらい緊張がほぐれました。他部署の方々とは今まで話す機会が少なかったのですが、皆さんすごく良い方ばかりで大変楽しく貴重な時間を過ごすことが出来ました。また新しく入職した同期の皆とは新人オリエンテーション以降、あまり話す事が出来ていなかった。今の状況などお互いに意見交換などを行う事ができ、改めて同期の大切さがわかりました。



また白井理事長、近森院長の挨拶では一言一言が新社会人の自分にはすごく新鮮に感じ気持ちが引き締め、今後の田野病院の発展にさらに貢献したいという思いが強まりました。

診療時間 変更のお知らせ

いつも当院の整形外科をご利用頂き、誠にありがとうございます。

平成29年6月より、木曜日の整形外科 診察開始時間が以下の通り変更となりました。ご理解とご協力をお願いし、ご案内申し上げます。

整形外科
木曜日 診察時間

変更前 午前10:00～午後12:30 午後13:30～16:00

変更後 午前10:30～午後12:30 午後13:30～16:00

リレーエッセイ

12年ぶりのVに向けて

経営企画部 医事課 小谷 雄亮

さて、今年の阪神は5月下旬時点で首位を維持しており、阪神ファンの方は今年こそはとの思いがあるのではないのでしょうか。

投手陣は12球団トップの防御率を誇り、打撃陣もベテラン、若手がかみ合い繋がりのある打線で、更には昨年優勝の広島相手に9点差逆転勝ちの歴史的勝利を取めるなど非常に好調な戦いぶりを見せています。

しかしこの12年の間には優勝に届く位置に何度かありながら、最大13.5ゲーム差をひっくり返されるなど惜しいシーズンも数々あったため、まだまだ安心はできません。

果たしてこの「たのの」が発行される7月頃にも首位は維持できているのでしょうか？または今年も交流戦が鬼門になり順位を落としているのか？今年も目が離せません。

♥ 結婚しました ♥



おめでとうございます！
お幸せに。

秋友 真雄 ♥ 悠理
(旧姓：尾崎)

リハビリテーション部
理学療法士 (新郎)



茄子とトマトの焼き春巻き

栄養部 管理栄養士 小松 華子

【材料】

- 豚ひき肉 50g ●茄子 1/2本 ●にんにく 1かけ ●トマト 50g
- しその葉 3枚 ●チーズ (とけるタイプ) 50g
- 春巻きの皮 3枚 ★〔●小麦粉 大さじ1 ●水 大さじ1〕
- オリーブ油 大さじ2

【作り方】

- ①茄子とトマトは1cmから1.5cm角に切る。トマトとしそは、余分な水分をキッチンペーパーなどでとっておく。茄子は、豚ひき肉とにんにくと一緒に炒めておく。
- ②春巻きを巻く要領で、しそ→トマト→炒めた茄子とひき肉の順に具を巻き巻いていく。最後の先を★の合わせた物をつけ止める。
- ③オリーブ油を熱して、止め口が下になるように並べ、弱火で両面に焦げ目が付くまで、6分ほど焼く。
そして、塩・コショウで味付けをする。



*暑さを軽減するため“焼く春巻き”を紹介しました。出来立てはパリパリです。

中身は、ピーマンやゆで卵などに变えて、楽しんでみてください。

①通所リハビリテーションの／介護福祉士 ②香美市土佐山田町 ③釣り ④施設で働いていた知識と経験を活



たけむら ひろあき
竹 弘

①西病棟／看護師 ②高知市大津 ③釣り・囲碁 ④患者中心の看護、ケアを提供していきます。



いしはら かずみ
石原 和美

①外来・中材手術部／看護師 長 ②長岡郡大豊町 ③ウサギ・メダカを飼育中 ④田野病院の一員として地域医療に貢献していきます。



にしお おかみ
西岡 美幸

新人紹介
①所属・職種 ②出身地 ③趣味・特技 ④どのようなことで頑張っていたいですか？

編集後記
皆さん、ついに梅雨の季節になりました。ジメジメと蒸し暑い日が続きますが、体調管理に十分気をつけて頑張りましょう。
外来・中材手術部
看護師 岡村真紀子



①通所リハビリテーションの／介護職員 ②北川村 ③地域のボランティア活動 ④送迎時の安全運転を心掛けます。



ただちろろ た
田 大池

かし、利用者様と良い関係を築けるよう頑張っていきます。